

安全な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

自然災害に対しては、自らの判断で避難行動をとることが原則です。

町では、災害が発生する危険性が高まった場合に、起こりうる災害種別に対応した区域を示して避難勧告等を発令します。

自宅や学校・職場等にはそのような危険があるのか、町が指定している避難場所はどこなのか等について、あらかじめ確認・認識しておき、いざという時の避難行動について考えておきましょう。



自宅や学校・職場にはどのような危険があるのか確認しましょう。

■町が作成している洪水ハザードマップ等(※1)を見て、河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか、土砂災害が起こりやすい場所ではないか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。

■町が指定している指定避難所や指定緊急避難場所(※2)を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。

(※1) 町役場(総務課消防交通係)及び町ホームページ(下記アドレス)から情報を入手できます。

< <http://www.town.nogi.lg.jp/page/page001221.html> >

(※2) 災害種別ごとに異なりますので、ご注意ください。

野木町避難所一覧は、町ホームページ(下記アドレス)で確認できます。

< <http://www.town.nogi.lg.jp/page/page000079.html> >

問総務課☎(57)4112

広報連絡委員レポート№.387

「野木町煉瓦窯」に関わった 先人の方々へ

広報連絡委員

小村 敏雄



4月28日から30日にかけて、国の重要文化財「野木町煉瓦窯」及びホフマン館にて、グランドオープン後2周年の感謝祭が行われました。期間中、多くの方にご来場いただき、大盛況のうちに終了いたしました。

今回は、JRグループとの合同企画「本物の出会い栃木」ディスプレイシヨンキャンペーン、「花とレンガのまち」野木フワーカーペット2018、「恋人の聖地」モニメントの除幕式など、たくさん行事が併せて開催されました。煉瓦窯見学ツアー参加者数が一般公開後(グランドオープン時を除く)の最高記録となりました。(3日間で2300人)

一方で、参加者への説明時間の長さやガイド人数の不足などの反省点がありますが、今後も見学者を増加させるため、ガイド養成講座を実施(日本語版・

英語版を予定)したいと考えております。

また、野木町民の宝である煉瓦窯は「ホフマン式輪窯」で日本の近代化遺産群にも選定されており、このことも未来へ正しく伝承していきたいです。このため、ガイド養成講座にて「旧下野煉化製造会社煉瓦窯」の歴史・実地研修を行っております。特に、日本で唯一、円形で完全な形を保っている煉瓦窯であること、煉瓦の供給を通じ、国・地域の発展に果たした役割は多大であり、関わった先人たちの努力は、貴重な「証」であることを伝えたいです。

そして、文化遺産、観光資産としての魅力を、町の誇りとして後世に語り継いでいきたいです。

